

市内企業経営者インタビュー概要

1 目的

グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指し、国際教育の推進に関する調査・研究の一環として、市内企業の経営者から、これからの時代に向けた人材育成についての考えを聞く。

2 インタビュー実施企業

No.	企業名	インタビュー対象者
1	(株)ヴィノスやまざき	取締役社長 種本 祐子
2	(株)江崎新聞店	代表取締役社長 江崎 和明
3	木内建設(株)	代表取締役会長 木内 藤男
4	(株)小糸製作所	取締役副社長 榊原 公一
5	(株)静岡伊勢丹	代表取締役社長 嶋田 正男
6	(株)静岡銀行	代表取締役会長 中西 勝則
7	静岡鉄道(株)	代表取締役会長 酒井 公夫
8	(株)清水銀行	代表取締役頭取 岩山 靖宏
9	清水農業協同組合	代表理事組合長 柴田 篤郎
10	(株)秀英予備校	代表取締役社長 渡辺 武
11	鈴与(株)	代表取締役社長 鈴木 健一郎
12	清和海運(株)	代表取締役会長 宮崎 總一郎
13	田中産商(株)	代表取締役社長 田中 康隆
14	日進電機(株)	代表取締役社長 山下 勝央
15	はごろもフーズ(株)	代表取締役会長 後藤 康雄
16	平井工業(株)	代表取締役社長 平井 敏晃

3 インタビュー概要

Q1 企業が求める人材像として、どのような知識・能力を求めるか

- ▶主体性・自発性・実行力 ▶忍耐力・粘り強さ ▶好奇心・探求心
- ▶協調性・コミュニケーション能力 ▶企画力・提案力・創造性 ▶柔軟性
- ▶向上心を持ち続けること、自己成長できること ▶英語力、豊富な語彙

※入社時点のスキルよりも、入社後に学び成長し続けることが重要との意見多数

Q2 これからの時代、グローバル人材が必要と考えるか **【YES：15社/NO：1社】**

- ▶ 自社事業において海外で活躍できるグローバル人材は必要と考える
- ▶ 自社に限らず、様々な分野で広い視野を持つグローバル人材は必要と考える
- ▶ 市内でも外国人が増えていることから、グローバル人材は必要であると考えている
- ▶ 日本は今後、日本語だけで生きていける国ではなくなると感じている
- ▶ 国際マーケットで競争に勝ち残るにはグローバル人材は必須
- ▶ 地域で活躍できるグローバル人材（多様性を認め、アイデンティティを確立する）も必要と考える
- ▶ グローバル人材の育成よりも、多様性を認めることが大事

Q3 グローバル人材に求められる能力は何か

- ▶ 外国人に臆することなく主張できること、コミュニケーションがとれること
- ▶ 日本の歴史、伝統、文化などを説明することのできる知識を身に付けていること、また日本人としてのアイデンティティを確立していること
- ▶ 語学力は重要だが、あくまでツール
- ▶ 自分の価値判断を持っていること
- ▶ 好奇心、洞察力、多様性を認める柔軟性

Q4 グローバル人材の育成には何が重要だと思うか

- ▶ 国際教育は重要だと思うが、その他の教育が疎かになってはならない…バランスが大事
- ▶ 形に現れにくい分析力や考える力を、年齢に応じて身につけるようなカリキュラムがあるとよい（やりすぎると個性が育たないので、注意が必要）
- ▶ 現在の日本の英語教育ではなく、対話ができるようになるような教育が大事
⇒ A L Tとの授業など、英語を話す機会が重要
- ▶ 海外については、異国の生活や文化などに触れさせ、海外への不安を取り除き、魅力を認知させることが大事

- ▶ 国際交流に限らず、静岡には多様な業種の企業があるため、職場見学、社会科見学を実施し知らない世界を見せることが重要
- ▶ 詰め込み型、記憶重視ではなく、ディベート・ディスカッション能力を養うべき
- ▶ 日本人としての誇りやアイデンティティを維持しつつも、型にはめるような教育ではいけない

Q5 いつから国際教育が必要だと思うか

- ▶幼少期程頭が柔らかいため、海外への意識醸成や英語教育は早いうちから行い脳を刺激しておくとうい
- ▶小学生の基礎的な力や人間性が身につく時期から進めるべき
- ▶小学生期の ALT、GET、留学生等との交流を通して多様な経験をさせることで、思考の多様性につながると考える
- ▶小学生のうちから日常的に外国人と交流するなど、日々海外に触れ合う機会があるとよい
- ▶海外を学ぶことも大事だが、まずは日本語をしっかりと学ぶこと

Q6 社会人に海外大学への進学（留学）は必要（有益）と考えるか

【YES：14社/NO：2社】

- ▶高い意識、目的意識（語学習得、友人を作る等）をもって海外に出ていくことが大事
- ▶海外で学び、得たことを、国内で活かすための取り組み、ケアが必要
- ▶海外留学、海外進学は、語学力や財政的余裕があるならぜひすべきと考える
- ▶海外の多国籍人種の中での生活において、自ら考え行動する能力を身に付けることが大事
- ▶ロジカルに、また客観的に物事を考えるとともに、根拠となるデータを収集し、多角的視点から検討して結論を導き出すというプロセスを海外で学んできてほしい
- ▶海外に行きやすい体制を作ってあげることが重要
- ▶海外に行き、視野を広げることが大事
- ▶海外に行くことが全てではないが、日々生活するだけで新たに経験できることが多いのは、よいことだと考える
- ▶地域に還元できるなら、国際体験は大事
- ▶必ずしも必要とは思わない、まずは日本文化の良さを知ることが重要